



田村市立都路中学校

学校だより 第12号

平成29年10月27日（金）
発行責任者：校長 田中 淳一
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：・夢や志をもつ生徒 ・自ら学び考える生徒 ・心身ともに健康な生徒
めざす学校像：・夢や志を育む学校 ・学び合い、高め合う学校 ・信頼され、愛される学校

第14回 藍爽祭が開催されました

21日（土）、第14回藍爽祭を開催しました。今年の藍爽祭は、生徒一人一人が例年以上に主体的に準備や運営を行いました。また、これまでの学びの成果を生かし、生徒一人一人が個性を発揮し、保護者や地域の方々楽しんでいただけるような藍爽祭を目指しました。

開会・閉会行事は全て、生徒たちの手による企画・運営で行い、例年以上に盛り上がりました。学年ごとの発表では、全学年が「志」をテーマに、生徒自らがシナリオを考え、表現形式や表現方法に工夫を凝らし、限られた人手と時間の中で、練習や撮影を行いました。合唱コンクールでは、約2か月前から学年一丸となって練習に取り組みました。いずれの学年も、美しいハーモニーを奏でることを目指して、歌い込んでいました。ダンス発表では、各チームの創意と一体感のある演技が披露されました。ダンスという身体表現の魅力を改めて感じた次第です。

その結果、藍爽祭を成功させたいという都路中生58名の思いが表現された、充実した文化祭となりました。多くの来賓、保護者、地域の皆様にご来校いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。都路中生には、「自分から行動を起こす」姿勢をこれからも大切にしてほしいと思います。



<11月（前半）の主な行事予定>

- | | | |
|------------------|-------------------------|--|
| 1日（水）奉仕委員会 | 7日（火）思春期保健教室（2年） | |
| 3日（金）都路町文化祭（～4日） | 教育相談（～14日） | |
| 4日（土）都路町商工祭 | 10日（金）漢字検定 | |
| 6日（月）県学力調査（2学年） | 13日（月）全校朝会 | |
| 3学年保護者会 | 17日（金）小中合同駅伝大会、避難訓練（地震） | |

ヤングアメリカンズ 都路小・中学校を開催しました



19日(木)は、「ヤングアメリカンズ都路小・中学校」を開催しました。ヤングアメリカンズ(YA)は、音楽を通じた教育と公演を2本柱とする米国の非営利団体です。ロサンゼルス近郊、コロナという町に拠点を置き、世界各地から集まる10代後半から20代のキャストと呼ばれる若者、約300人で構成されています。YAのキャストになるには、オーディションに合格する必要があります。オーディションには毎年世界各地から約4,000人が挑戦しますが、そのうち入団を許されるのは100人強に過ぎません。YA東北ツアーは、多くの企業・団体の支援を得て、東日本大震災が発生した2011年6月に立ち上がりました。2016年までにYAを開催した学校は延べ276校、YAに出会った子どもたちや先生方は延べ28,835名となりました。

舞台芸術と視覚芸術に重点を置いているYAの教育プログラムでは、安心できる空間の中で表現すること、新しい発見をすること、そして成功体験を積むことのできる機会を、バランス良く随所に吹き込んでいます。ワークショップの中で数多くある教えるの核となっているのは、人生にとっての大切な教訓や価値観。それは、敬意を持つこと、素直でいること、環境に適応すること、そして思いやりと責任感を持つことです。YAの教育プログラムは、参加者に学ぶことの楽しさに気づかせ、個々の表現力を磨き上げ、さらに一緒に創り上げることで形成されるチームワークを共に讃えることができます。



「YA都路小・中学校」には、都路小5・6年生と都路中全校生及び教職員が合わせて95名参加しました。訪れたYAのキャストは38名でした。私たち日本人は、諸外国と比較して真面目でシャイなところがあります。周囲の目を気にし、評価が気になり、求められていることは何かと考えがちで、目の前のことに集中して楽しむことが苦手です。また、色々な「しがらみ」に縛られがちです。



YAのキャストたちは、日本人が真似できない底抜けの明るさで子どもたちと接していました。そして、子どもたちが抱えている様々な「しがらみ」を取り除き、ワークショップで行う歌やダンスにのめり込めるように導きました。子どもたちは心の底から楽しみ、集中し、「自分にはできるはずがない」と思うことに挑戦し、見事にやり遂げ、仲間と共に素晴らしいショーを創り上げました。子どもたちのYAで積んだ成功体験が、学校生活や個々の人生に活かされることを願ってやみません。

